

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2738414
園名	麻の実幼稚園

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

音楽

＜テーマの設定理由＞

在園期間を通して、歌やリズムあそび、楽器に触れる機会を多く設けている。
また、毎年2月下旬には学年の総まとめとして、音楽会を実施している。
より積極的に音楽・楽器に触れ、音楽の楽しさや達成感を感じ、また、自分なりに表現できるようにすすめていく

2. 活動スケジュール

- ・毎日、歌や音楽に触れる（朝の歌、食事の歌、季節の歌など）
- ・各学年毎月1回ずつ、専門の講師によるリトミックあそびや楽器・歌唱指導
- ・（年長）10/5 運動会にて鼓笛隊演奏
- ・2/21 音楽会にてリズムあそび・合奏の披露
合奏の練習はクラス・学年を問わず見学をできるようにする
- ・2/27 音楽家の在園児保護者によるミニコンサート

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・全学年が鈴・カスタネットを、年中・年長は鍵盤ハーモニカを個人持ちとして部屋に置き、自由に使えるようにする
- ・様々な楽器を用意（バスドラム、スネアドラム、シンバル、エコー、鉄琴、木琴、タンバリン、トライアングル、ウッドブロック等）
- ・叩くものによる音の違いを感じられるよう、バチやマレット、スティックなども複数用意

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ピアノの音やリズムから感じたことを自分なりに身体で表現した。
 - ・音階や音符などを理解し、様々な楽器に触れ、合奏・発表することでの達成感を味わった。
 - ・合奏練習の過程で、他のクラスや他学年の子と様子を見合い、また、動画で自分たちの演奏も見て、同じ曲の演奏でも表現が変わることの面白さに気付いた。
- また、自分や友だちの演奏について様々な意見を交わし、向上意欲を高めたり上達する喜びへ結び付けていった。
- ・発声や姿勢を意識して歌う楽しさを得た。
 - ・プロの奏でる音楽に触れ、音楽により一層興味関心を持った。

<活動中の子供達の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・リトミックでは、同じイメージでも身体の表現の違いを問うことで「〇〇ちゃんのこんな動きが面白かった」などと気付き、互いに取り入れようとする姿があった。
- ・合奏では真剣な表情がみられ、同じ楽器同士が練習しあう中で、教え合う様子もあった。教員としては、その中でどこに難しさを感じているのか、工夫する点はなにかなど次に活かしていった。
- ・上の学年の合奏練習や発表を見る中で、「僕は年長さんになったらあの楽器をやるんだ」と新しい楽器に挑戦すること、ひいては進級すること自体も楽しみにする姿があった。
- ・プロの演奏会の後には、初めて見たコントラバスの弾き方をまねたり、自分たちで楽器を作って楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたち同士で気付いたことを話し合うことで、向上心や自主性など、教員が教えるのとは違った効果があった。また、子どもたちの視点での言葉から、どこに楽しさを感じているか、逆にどこに難しさを感じているか、環境として工夫する点はなにかなど次に活かすヒントを多く見つけることができた。。
- ・自分たちの様子を動画で見ることで、自己のふるまいを客観的に捉え、言葉で伝える以上に意欲的に音楽に取り組んでいた。